

【記録】

新緑の瀬川・氷ノ山林道

新緑の林道自然観察Walk
2025.5.29.by Mutsu Nakanishi

新緑の林道自然観察ウォーキング行程マップ



デジカメの調子悪く、ピンボケスライドばかり お許しください。
また、一部 インターネットから採取したPhotoや、2021年氷ノ山山麓林道ドライブのスライド
等々を個々の場面の整理スライド他として和せていただきました。感謝です
Web 瀬川氷ノ山林道走行記録の検索・googleレンズ検索 Google Earth & カシミール3D地図他
2025.6.5. Mutsu Nakanishi



兵庫県林業協会主催
氷ノ山山腹を巡る氷ノ山林道自然観察会 2025.5.29.

新緑の林道自然観察ウォーキング

令和7年5月29日（木） 養父市・宍粟市



【行程表】

- 8:00 頃 林業会館発
- ① 10:00 頃 『道の駅ようか但馬蔵』にて合流
 - ② 『福定親水公園』小休止
 - ③ 『湿地環境を守ろう駅』
 - ④ 『巨木の谷駅』
 - ⑤ 11:30 頃 大段ヶ平で昼食
(希望者は大屋町避難小屋までミニ登山)
 - ⑥ 13:10 頃 『ブナの観察駅』周辺をウォーキング
 - ⑦ 『横行溪谷駅』周辺をウォーキング
 - ⑧ 但馬の名水『ぶなのしずく』
 - ⑨ あゆ公園
 - ⑩ 16:00 頃 道の駅『まほろば』休憩
 - 18:30 頃 三宮→林業会館到着



一般社団法人 兵庫県治山林道協会

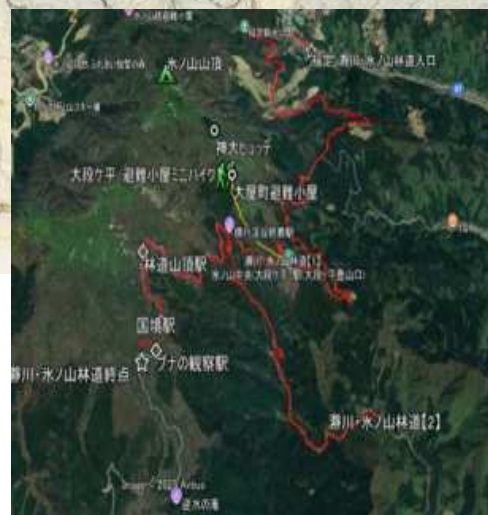
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18

Tel 078(371)0210 Fax 078(371)6632

<http://www.chisanrindou.jp/>



新緑の林道自然観察ウォーキング行程マップ





周辺には何度も出かけたことがあるのですが、まだ山頂を踏んでいない兵庫県最高峰「氷ノ山(1509.8m)」家内がスマホで見つけた「兵庫県林業協会主催 氷ノ山山腹を巡る氷ノ山林道自然観察会(募集定員14名)」神戸からバスで現地に入れるとダメもとでもよいからと申込み。幸運にも参加Okの通知。

3年前 氷ノ山登山の下見に通った瀬川・氷ノ山林道の自然観察会。個人で行くのとは違う自然観察会どんなwalkになるのか興味深々。2029.5.29. 天候は曇り 夕方から雨の早朝。マイクロバスで神戸三宮・県庁前を出発。 8:00

三ノ宮-新神戸トンネル-箕谷-阪神高速北神戸線
一舞鶴若狭自動車道-春日-北近畿自動車道-養父-
国道9号-関宮-県道87号-福定-瀬川・氷ノ山林道
入口へ もっと簡単な行き方あるのにと...
神戸の高速道路網はややこしい

兵庫県林業協会主催

氷ノ山山腹を巡る氷ノ山林道自然観察会 2025.5.29.

新緑の林道自然観察ウォーキング行程マップ





新型コロナ蔓延で 往けなかった氷ノ山ハイク

本年は是非とも行くつもりが、年の初めに家内の鎖骨・私の脛トラブルでの加療もあって、本年も参加申込みできなかった氷ノ山登山walk。

家内がスマホで、神戸からバスで現地に入れる「兵庫県林業協会主催 氷ノ山山腹を巡る氷ノ山林道自然観察会(募集定員14名)」をたまたま見つけて、ダメもとでもよいからと申し込み。幸運にも参加Okの通知。

3年前 氷ノ山登山の下見に通った瀬川・氷ノ山林道の自然観察会。

個人でのハイクとは違う自然観察会 どんなwalkになるのか興味深々。

天候は曇り 夕方から雨の早朝 ミニマイクロバスで神戸出発 2029.5.29. 8:00

【参考】 [和鉄の道・Iron Road HP/風来坊2021.](#) 【スライド動画】 [【Photo Album】](#)

[新緑の但馬](#) [残雪の残る氷ノ山山麓ドライブ](#) 2021.4.21.

[芽吹きの中 兵庫県最高峰氷ノ山山腹を巡る Album](#)



北近畿自動車道 西紀サービスエリアで 2025.5.29.



神戸から高速道路を幾つも乗り継いで約1時間北近畿自動車道に入り、氷ノ山の入口但馬・養父へ
三ノ宮から一時間ほどで 但馬へ 兎に角 街の喧騒を離れて、あっという間に但馬へ 2025.9.29.



氷ノ山避難小屋

氷ノ山山頂

福定新水公園



福定/瀬川・氷ノ山林道入口

47

神大ヒュッテ



大屋町避難小屋

ミニ登山

横行溪谷終着駅

氷ノ山中央(大段ヶ平)駅(大段ヶ平登山口)



うなひ



真駅



標高1200m大屋町避難小屋を目指して
素晴らしいブナ林の森 ミニ登山

緩やかに伸びる狭い尾根筋の両側に素晴らしい
ブナ林が広がる大段ヶ平の先端部登山道



県道87号線養父市福定 氷ノ山の山腹を巡る瀬川・氷ノ山林道入口
2025.5.29. 10:30.



瀬川・氷ノ山林道 養父市福定 親水公園駅から いよいよ氷ノ山の山腹を巡る 2025.5.29.10:30頃
 氷ノ山中腹を巡る道幅の狭い林道 要所要所のちょっとした空き地に退避場所と作業基地が「駅」という
 名で設けられている。



2021.4.21 氷ノ山の山腹を巡る氷ノ山林道
福定親水公園から東尾根登山口へ 心地よい春の林の中のドライブ
樹木の間から谷の向こうに鉄依の山々が見える



2021.4.21 2021.4.21 12:51
氷ノ山の山腹を巡る氷ノ山林道 福定親水公園から東尾根登山口
グレンデ端のロッジの前から後へ回り込んだところが東尾根登山口



2021.4.21 氷ノ山の山腹を巡る氷ノ山林道 福定親水公園から東尾根登山口へ
氷ノ山国庫スキー場グレンデより、氷ノ山山頂を眺める

2021年4月にこの瀬川・氷ノ山林道を通して、氷ノ山国際スキー場から鶴縄林道から山を下り元の県道87号へ下ったのでそのPhotoを参考に掲載しました。 親水公園からは氷ノ山の山腹 きつい傾斜の山腹を切り開いて氷ノ山の山腹をめぐる林道 よく整備された道とはいえ、道幅は普通車がギリギリ交わせる程度で、右手は緑に包まれた傾斜のきつい山肌が迫り、左手は林道脇の耳目の向こうは空。小型マイクロバスですが、今回の主催者林業協会の先導車なしにはこの道を走れず。バスの中からシャッター切ってもすぐ窓のすぐ前に樹木があり、それらが流れてphotoにならずで、周囲の春景色を参考に掲載。

■和鉄の道 残雪の残る氷ノ山山麓ドライブ <https://infokkna.com/ironroad/2021htm/2021walk/21walk08photo.pdf>

ひょうごの風景・緑の回廊（遊川・氷ノ山林道、氷ノ山ルート）

②逆水（さかみず）自然公園駅について

氷ノ山国際スキー場に隣接してある自然公園で、炊事場、トイレ、キャンプ場、グラウンドなどの設備があります。スキー場の景観は牧歌的な雰囲気を出している上に展望が開けており、北方向に鉢伏山（ハチ高峯）一帯が眺望できます。また、ここから見上げる氷ノ山は、切り立った美しい山容を見せています。近くの林道からは、東尾根を経て氷ノ山に至る登山道「東尾根コース」の登山口があります。

氷ノ山国際スキー場付近からの眺望



登山参考タイム 東尾根登山口より～東尾根遊覧小屋まで 約30分
東尾根遊覧小屋より～神大ヒュッテまで 約1時間30分
神大ヒュッテより～氷ノ山山頂まで 約50分

この場所

指定起点より	標高	(前駅)	徒歩での所要時間	(次駅)
3.8 km	780 m	①指定親水公園駅	70分 2.4 km	②交流の森駅

2025.5.29. 逆水自然公園駅周辺

小型マイクロバスの車窓から 国際スキー場ゲレンデ越しに氷ノ山山腹に沿って林道が山腹をめぐってゆく。ゲレンデの下側を右から左へ通り抜け、ロッジ等の建物を奥に抜けると氷ノ山東尾根登山口・逆水自然公園駅



山腹には残雪がまだ少し見える？ 氷ノ山稜線の山並遠望 20225.5.29.
氷ノ山国際スキー場周辺 林道を走るマイクロバス車窓より





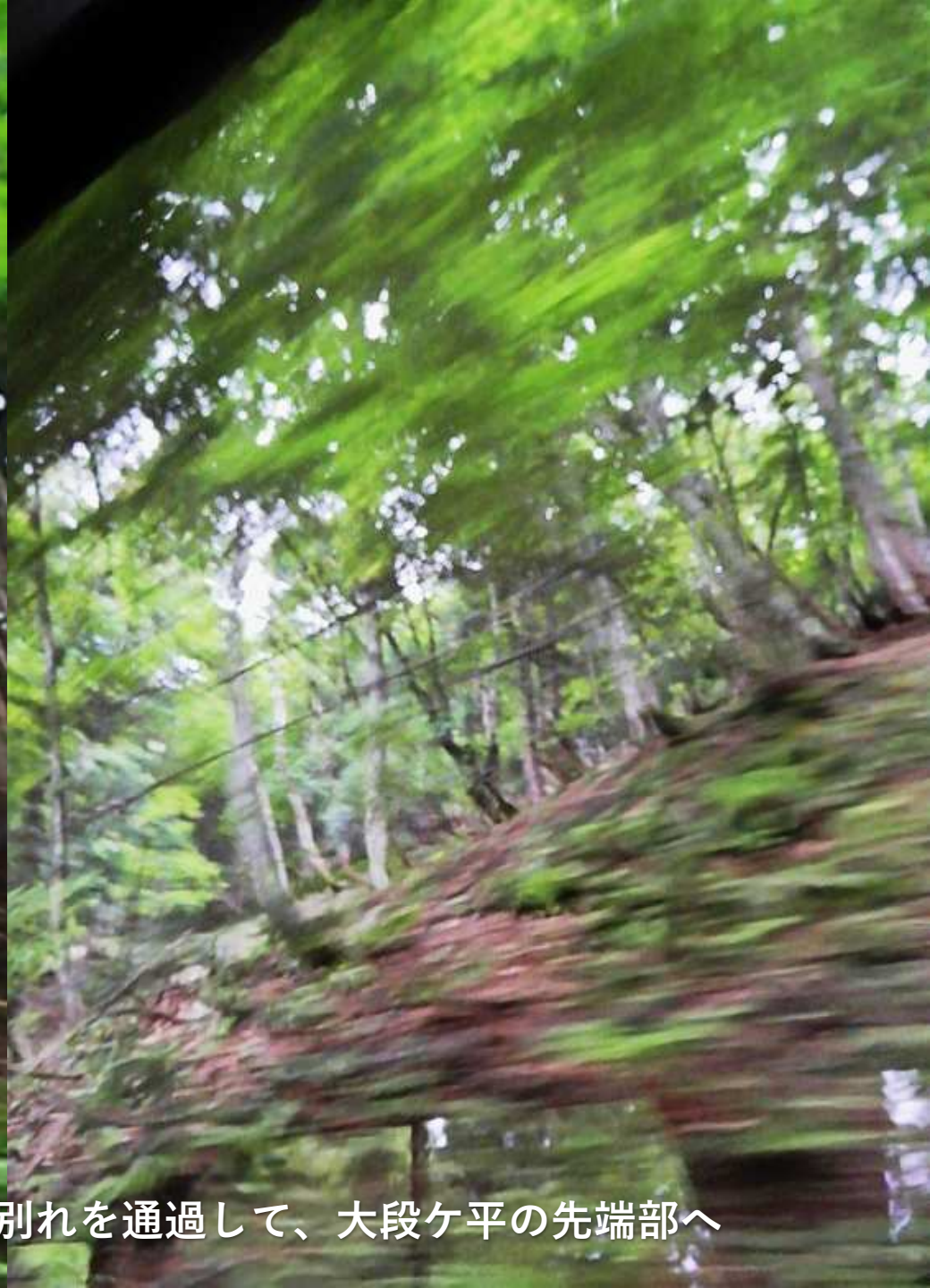
鶴川・氷ノ山林道 主要自然観察地(駅)



東尾根の根元部から鶴縄林道の別れを通過して、大段ヶ平の先端部へ
幾つもの巨樹や美しい森が続く

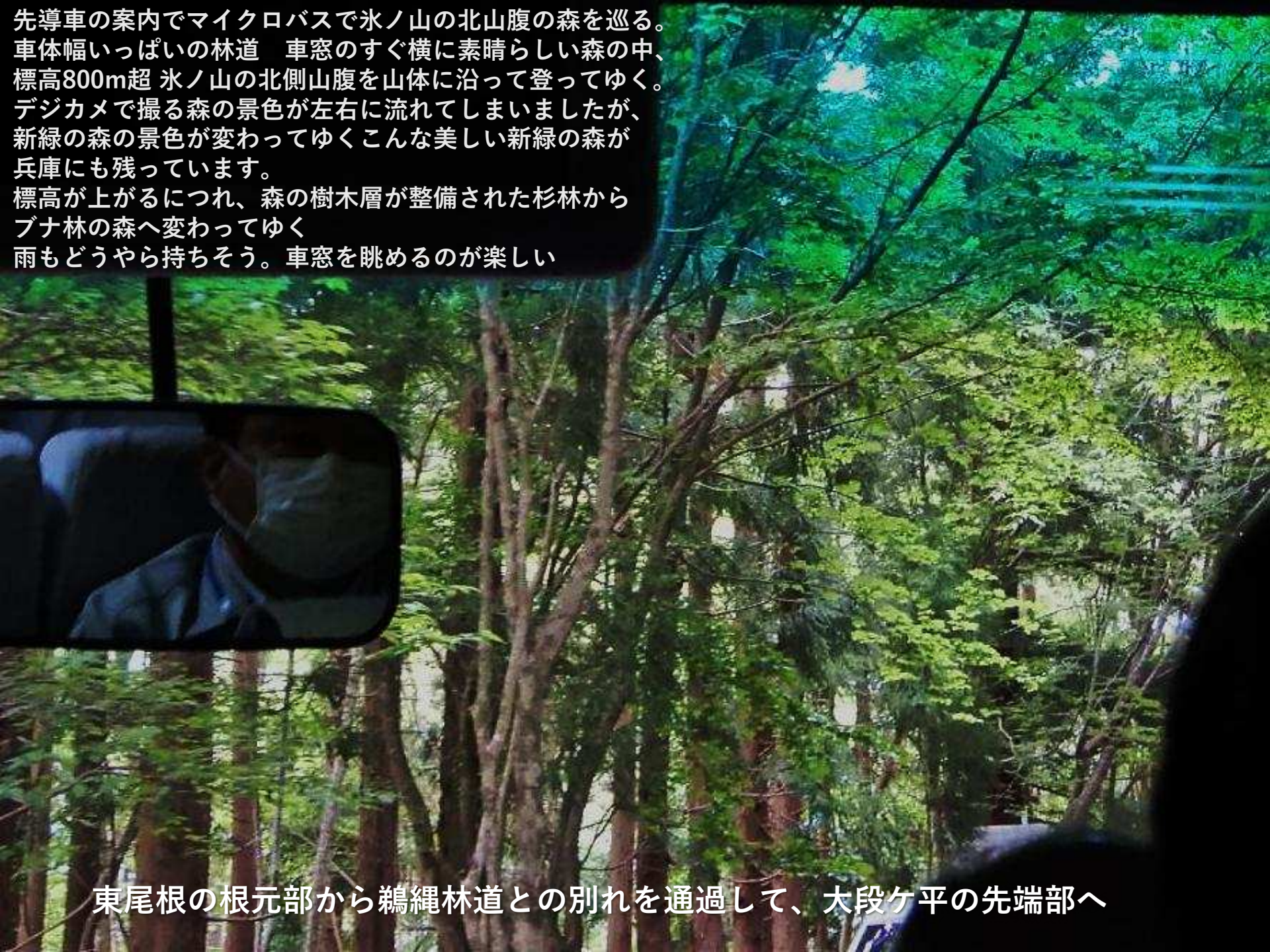
氷ノ山山腹を巡る瀬川・氷ノ山林道の核心部

東尾根登山口を過ぎると緑に包まれた森の中。林道は幾つも小さな沢を横切り、高度を上げつつ東尾根の先端部を乗越して反対側へ回り込む。大きな杉が林立する林や緑一杯のブナの林の素晴らしい森が続く。そして、バスを降りての最初の観察地「湿地環境を守ろう駅」へ



東尾根の根元部から鵜縄林道の別れを通過して、大段ヶ平の先端部へ

先導車の案内でマイクロバスで氷ノ山の北山腹の森を巡る。
車体幅いっぱいの林道 車窓のすぐ横に素晴らしい森の中、
標高800m超 氷ノ山の北側山腹を山体に沿って登ってゆく。
デジカメで撮る森の景色が左右に流れてしまいましたが、
新緑の森の景色が変わってゆくこんな美しい新緑の森が
兵庫にも残っています。
標高が上がるにつれ、森の樹木層が整備された杉林から
ブナ林の森へ変わってゆく
雨もどうやら持ちそう。車窓を眺めるのが楽しい



東尾根の根元部から鵜縄林道との別れを通過して、大段ヶ平の先端部へ



東尾根の根元部から鵜縄林道の別れを通過して、大段ヶ平の先端部へ



美しい杉林の森からブナ林へ
東尾根の根元部から鵜縄林道の別れを通過し、標高を上げながら大段ヶ平の先端部へ



最初の自然観察地「湿地環境守ろう駅へ」



東尾根の根元部から鵜縄林道の別れを通過して、大段ヶ平の先端部へ

ピンボケですが、淡いピンクのタニウツギ
林道を走る車窓 あちこちで見かけました
もう通常は咲き終わりだそうですが、
標高の高い林道のあちこちで見かけました
新緑の森の花というと「白」ですが、
薄ピンクのタニウツギの花が林道のあちこちで



■ 標高800mを越える「湿地環境を守ろう駅」へ 2025.5.29. 11:12

氷ノ山山腹の山襜や沢を渡り名が高さを上げてゆく瀬川・氷ノ山林道。

国際スキー場横の東尾根登山口をすぎ、美しい杉林の森を抜けるとブナの明るい林が続く大段ヶ平の緩やかな尾根の先端部。林道は山腹の山襜や沢を渡りながら先端部を巻いて大段ヶ平の上に出る。

この尾根の沢や山襜は氷ノ山山頂部の豊富な水を含み、崖からは滝になって下へ流れ落ち、山腹を潤し、山腹の沢それぞれに、緑の森が広がるとともに、その沢のいくつかには独自の生態系を作って今に続いている。

林道をつくるにあたり、これらの生態系をできるだけ壊さず守るよう配慮する意思を込めて林道に沿う作業基地兼退避場所を「駅」と呼び、この趣旨の名前が付けられたようだ。

マイクロバスを降りて周囲を観察する最初の自然観察地「湿地環境を守ろう駅」。

新緑の林がくねくね続く林道 新緑がまぶしい車窓を楽しみながら「湿地環境を守ろう駅」へ
湿地環境を守ろう駅 案内板より

ひょうごの環境・緑の計画（瀬川・氷ノ山林道、氷ノ山ルート）

⑤ 湿地環境守ろう駅について

本線が、氷ノ山から緩やかに伸びる大段ヶ平までにあるまで、急斜面を切り通しながら標高を上げてゆく際に、氷ノ山より流れ出た幾つかの沢を横切ってゆきます。これらの沢の多くが豊富な水をたえており、川の源流の雰囲気を感じる事が出来ます。

この駅もそのひとつで、道の上方には十数メートルの断崖があり、壮大なロケーションになっています。そこから流れ落ちる水や、法面からしみだす地下水は、林道周辺に新たな湿地環境を生み出しています。このため、サリ科植物なども繁殖し、モリアオカエル、タゴカエル、ヒガサンショウウオなどの両生類や、トンボのヤゴなどの水生生物の生息地になっています。またこの場所には「クロセンブリ」という全国的にも珍しいヘビトンボの稀種の生息が、近くの沢ではリュウキンカの生息が確認されています。

この環境を保護するため、平成15年に林道脇に水陸水路を設置しています。



氷ノ山(15,810)

大段ヶ平(1,000)

瀬川・氷ノ山林道

沢を渡りつつ標高を上げる林道

水陸水路設置の状況

林道上方にそびえる断崖

氷ノ山ルート標識図

この場所は		（次駅）		（前駅）	
標高	900m	標高	800m	標高	700m
標高	9.7km	標高	1.6km	標高	1.6km

（前駅）
標高700m
特殊な地形

■ 最初の自然観察地 「湿地環境を守ろう駅」 2025.5.29. 11:12

「湿地環境を守ろう駅」前の沢を眺める



林道は道幅は約12m一方が崖、他方は岩肌が迫り、普通車がギリギリ交わせる程度。
これが自然環境と林業を両立させるギリギリの林道建設なのだろう。
何の変哲もない小さな広場が林業を成り立たせる上で、車の退避・作業基地として大きな役割を担っている。
林道周辺の環境を守るとの思いが「駅名」に込められているようです。



岩壁から水が流れ落ちる水を受け止める水路・木柵で湿潤環境が保たれ、設置された水路脇では沢から流れてくる水が周囲を湿潤にして多くの植物が育ち、林道ができた後もこの沢の生態系が守られている



岩壁から水が流れ落ちる「湿地環境を守ろう駅」前の沢の湿地環境
2025. 5. 29.



溶岩でできた岩壁から水が流れ落ちる「湿地環境を守ろう駅」前の沢 2025. 5. 29.
氷ノ山直下のこの沢では山頂部の豊富な水を含み、崖からは滝になって下へ流れ落ちて山腹を潤し
緑の森が広がるとともに、その沢のいくつかには独自の生態系を作って今に続いている。
この沢でも溶岩でできた岩壁等から染み出す水や流れ落ちる水が、沢の周囲を湿潤にして、数多く
樹木が育ち、沢を緑にするとともに、水路・木柵で湿潤になった林道脇にも植物が数多く茂ってい
なお、見える大きな岩盤から流れ落ちる滝があるというのですが、緑に包まれた沢と岩盤
林道脇からはよくわからずでした。



見あげる沢の上方岩壁から水が流れ落ちているのが見えます
「湿地環境を守ろう駅」前 2025. 5. 29.





林道からは崖を流れ落ちる滝が全く見えなかったのですが、
林道からは滝があるとは見えませんでした、
水量の少ない時期だったのかもしれませんが、沢の中へ少し
入って、崖の横に立てば、流れ落ちる滝が見られたようだ。

ひょうごの屋根・緑の回廊（瀬川・氷ノ山林道、氷ノ山ルート）

⑤湿地環境守ろう駅について

本線が、氷ノ山から緩やかに伸びる大段々平までに乗るまで、急斜面を切り通しながら標高を上げてゆく際に、氷ノ山より流れ出た幾つかの沢を横切ってゆきます。これらの沢の多くが豊富な水をたたえており、川の源流の雰囲気を感じる事が出来ます。

この駅もそのひとつで、道の上方には十数メートルの断崖があり、壮大なロケーションになっています。そこから流れ落ちる水や、法面からしみだす地下水は、林道周辺に新たな湿地環境を生み出しています。このため、セリ科植物なども繁茂し、モリアオガエル、ダコガエル、ヒダサンショウウオなどの両生類や、トンボのヤゴなどの水生生物の生息地になっています。またこの場所には「クロセンブリ」という全国的にも珍しいヘビトンボの仲間が生息が、近くの沢ではリュウキンカの生息が確認されています。

この環境を保護するため、平成15年に林道脇に木柵水路を設置しています。



林道周辺の湿地環境



沢を渡りつつ標高を上げる林道



木柵水路整備の状況



林道上方にそびえる岩樹



氷ノ山ルート路線図

この場所は

幅定起点より	標高	（次駅）	徒歩での所要時間	（前駅）
9.7 km	900 m	⑥ 巨木の谷駅	50分 1.6 km	⑤ 当駅
			90分 2.9 km	④ 新橋式間住 見様の地駅

【参考】 瀬川・氷ノ山林道 湿地環境を守ろう 駅前の沢の岩壁を流れ落ちる滝

インターネットより

林道から見ると、何処 滝がただの絶壁にしか見えない。

取敢えず斜面を上って横に廻ってみると・・・確かに水が流れています。

岩肌を濡らす程度の水量ではありましたが

周辺の緑と絶壁は目を見張るものがあります。

◎ <https://syousa.bokunenjin.com/takiyabusi%20kengainotaki%20menu.html>

◎ <http://nonstoprun.blog.fc2.com/blog-entry-3751.html?sp>

他より



次の観察地 標高1000mの「古木の谷」駅へ

高度を上げつつ、狭い林道を氷ノ山東尾根の東への張り出し部先端を回り込んで尾根の南側から東尾根の張り出し部に広がる緩やか大段ヶ平へ登ってゆく。

急峻な氷ノ山山頂直下 標高800mを越える山腹を巡る林道脇は緑に包まれ、北側の深い谷向こうに但馬の山並が見えるが、緑に包まれ谷底はみえない。

林道周辺では兵庫県では珍しいブナ林が見られ、巨樹になった古木も多数。林道脇にも ブナなどの巨樹が数多く見られるという。

次の自然観察地「古木の谷」駅へ そして 大段ヶ平で昼食の後 大段ヶ原/氷ノ山山頂への尾根筋を標高1200mの避難小屋まで、素晴らしいブナの森のミニハイク 2025.5.29.



林道が方向転換するカープのある安井林道分岐点から、大粒ヶ平方面への約1km区間には、道の両側にプナ、トチノキ、ミズナラ、ハリギリなどの巨木が立ち並んでいます。

特に10.7km地点のハリギリ、11.3km地点のミズナラは県下で最大のものと確認されています。10.7km地点の林道のすぐ脇にあるトチノキの巨木は、道を包み込むアーチのように立っており、まるで巨木の楽園へいざなう門のように来るものを迎えてくれます。

またこの近辺から大段ヶ平にかけては展望が開け、氷ノ山山頂をはじめ交流の森、詳伏山、妙見山など但馬の山並みが一望できます。





緑に包まれた標高800mを越える氷ノ山山腹の林道を先頭車の案内で「巨木の谷駅」へ

■ 自然観察地 標高1020m 「古木の谷」駅周辺



ひょうごの歴史・緑の回廊（瀬川・氷ノ山林道、氷ノ山ルート）

⑥ 巨木の谷駅について

本林道が方向転換するカーブのある轟安井林道分岐点から、大袈々平方面への約1km区間には、道の両側にブナ、トチノキ、ミズナラ、ハリギリなどの巨木が立ち並んでいます。特に10.7km地点のハリギリ、11.3km地点のミズナラは県下で最大のものと確認されています。

10.7km地点の林道のすぐ脇にあるトチノキの巨木は、道を囲み込むアーチのように立っており、まるで日本の奥山へいざなう門番のように来るものを迎えてくれます。

またこの近辺から大袈々平にかけては瀬川が流れ、氷ノ山山頂をはじめ交通の森、鉢伏山、妙見山など但馬の山並みが一望できます。

県下一のハリギリ
10.7km地点
胸高周囲長 425cm

瀬川（10.7km地点）
幅 40m 深さ 10m

県下一のミズナラ
11.3km地点
胸高周囲長 509cm

巨木の谷あなほの紅葉

この場所は

確定地点より 11.3 km

標高 1,020 m

氷ノ山中央駅 40m
1.3 km

大袈々平 50m
1.6 km

ひょうごの歴史・緑の回廊

瀬川・氷ノ山林道、氷ノ山ルート

ひょうごの屋根・緑の回廊（瀬川・氷ノ山林道、氷ノ山ルート）

⑥巨木の谷駅について

本林道が方向転換するカーブのある轟安井林道分岐点から、大段ヶ平方面への約1km区間には、道の両側にブナ、トチノキ、ミズナラ、ハリギリなどの巨木が立ち並んでいます。特に10.7km地点のハリギリ、11.3km地点のミズナラは県下で最大のものと確認されています。

10.7km地点の林道のすぐ脇にあるトチノキの巨木は、道を包み込むアーチのように立っており、まるで巨木の楽園へいざなう門番のように来るものを迎えてくれます。

またこの近辺から大段ヶ平にかけては展望が開け、氷ノ山山頂をはじめ交流の森、鉢伏山、妙見山など但馬の山並みが一望できます。



県下一のハリギリ
10.7km地点
胸高周囲長 428cm



トチノキのアーチ 10.7km地点



県下一のミズナラ、
ハリギリは、
「但馬の巨木百選」
に掲載されています。



県下一のミズナラ
11.3km地点
胸高周囲長 509cm



巨木の谷あたりの紅葉



氷ノ山ルート路線図

この場所は

指定起点より
11.3 km

標高
1,020 m

⑦氷ノ山中央駅

徒歩での所要時間
40分
1.2 km

⑥[当駅]

50分
1.6 km

⑤湿地環境守ろう駅



「巨木の谷」駅のすぐ前の谷で 2025.5.29.
ブナの巨木がまっすぐ立つ谷の下側にミズナラ?の木 案内板の巨木かなあ・・・



「巨木の谷」駅のすぐ前の谷で 2025.5.29.
ブナの巨木がまっすぐ立つ谷の下側にミズナラ?の木
案内板の巨木じゃないと聞きましたが……

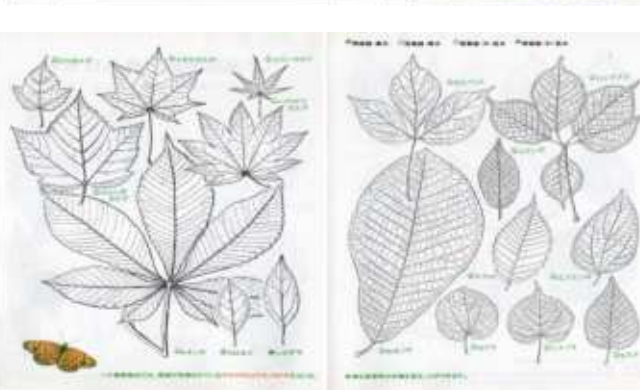


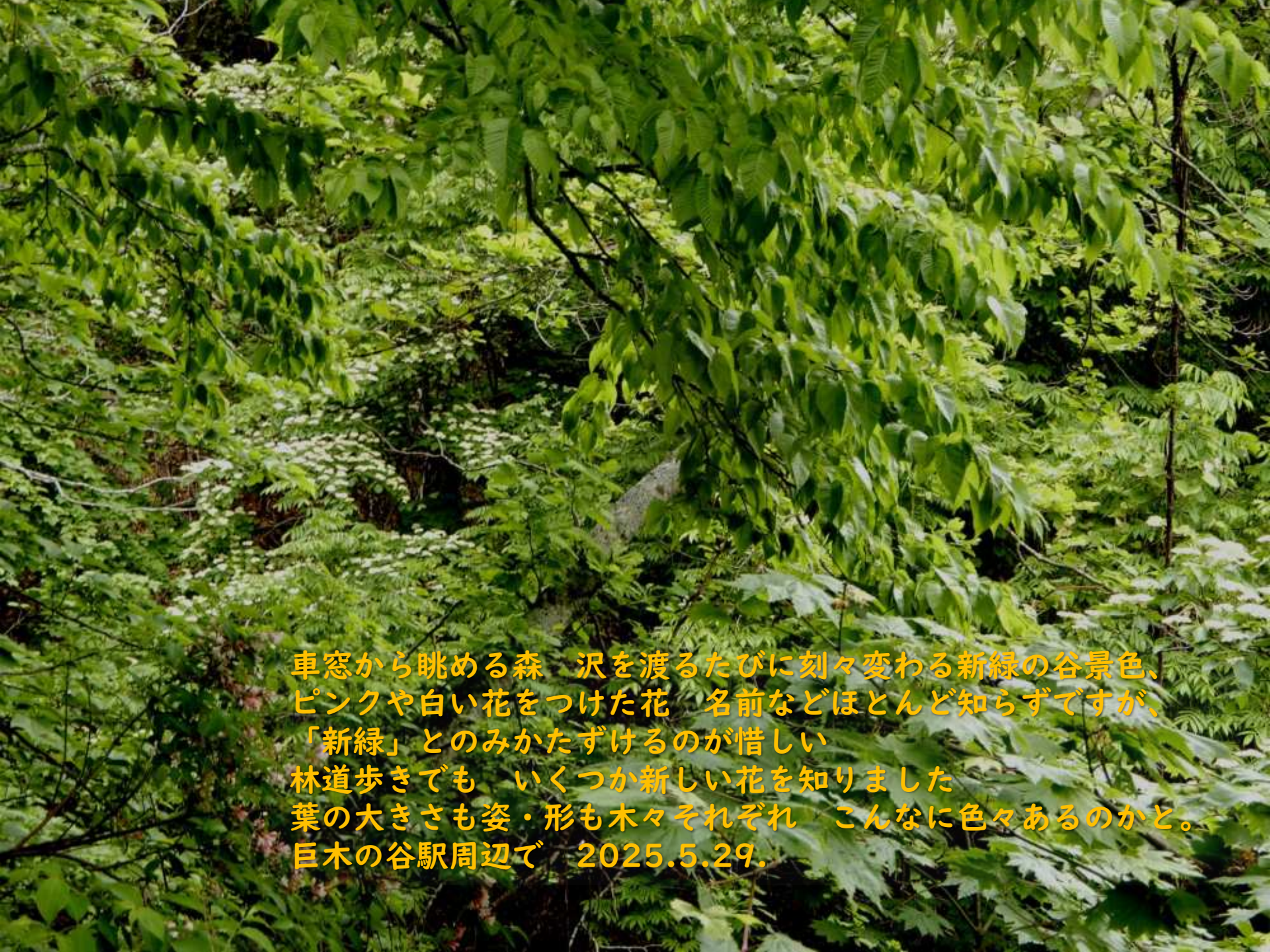
「巨木の谷」駅のすぐ横の谷にあるブナの巨木 2025.5.29.



「巨木の谷」駅のすぐ前の谷で 2025.5.29.
 巨木の巨木がまっすぐ立つ谷の下側にミズナラ?の木、葉の板の巨木がまっ...

巨木の谷駅周辺 新緑の森 walk 林道脇の樹木は緑の葉を一杯つけて枝を伸ばす。
姿や形や花ばかりでなく葉の形・色・葉脈なども木々去れぞれ。もらった自然観察の資料を手に
話を聞きながらの林道歩き。樹木が特定できるとうれしい緑の森 うまい空気を胸一杯





車窓から眺める森 沢を渡るたびに刻々変わる新緑の谷景色、
ピンクや白い花をつけた花 名前などほとんど知らずですが、
「新緑」とのみかたずけるのが惜しい
林道歩きでも いくつか新しい花を知りました
葉の大きさも姿・形も木々それぞれ こんなに色々あるのかと。
巨木の谷駅周辺で 2025.5.29.



見上げる空にウチワカエデの葉 青紅葉が心地よし
巨木の谷駅周辺で 2025.5.29.

段々になって咲く「クマノミズキ」の花の樹形
集合してそれぞれが段々になって
咲いている花を拡大してみると
こんな風に小さな白い花が密集していて
美しい





タニウツギの花 標高が800mの林道なので、車窓からも数多く見られました。
巨木の谷駅周辺で 2025.5.29.



オオカメナシ?? の花



クマノミズキの白い花の間から氷ノ山山頂部が見え、その手前になだらかな丘
間もなく大段ヶ平・氷ノ山中央駅の駐車場に着く

ひょうごの屋根・緑の回廊（瀬川・氷ノ山林道、氷ノ山ルート）

⑦氷ノ山中央（大段ヶ平）駅について

大段ヶ平という名が示すとおり、氷ノ山より伸びる緩い尾根上に広がる台地状の箇所であり、林道沿いには大きな広場があります。

ここは氷ノ山への登山道「大段ヶ平コース」の起点になっています。このコースを使うと氷ノ山山頂まで最短時間で行く事ができます（往復約2時間30分）。特に新緑、紅葉シーズンには多くのハイカーが当地をベースポイントとして使用し、賑わいを見せています。

また広場からは、氷ノ山から始まり、神伏山、蘇武岳、妙見山、床尾山系、須留ヶ峰へと但馬の山々を180度のパノラマで展望することが出来ます。ここから見上げる氷ノ山は、福定方面から見える美しい姿と違って雲わり、こんもりとしたなだらかな山容を見せてくれます。



大段ヶ平広場からの眺望



大段ヶ平コース



（旧）大段町避難小屋



神大ヒュッテ



氷ノ山頂上



大段ヶ平から
見上げる氷ノ山



氷ノ山ルート詳細図

（登山参考タイム）大段ヶ平登山口から～神大ヒュッテまで 50分
神大ヒュッテより～氷ノ山山頂まで 約50分

この場所は

福定起点より	標高	（前駅）	徒歩での所要時間	（次駅）
12.5 km	1,100 m	⑥巨木の谷駅	40分 1.2 km	⑧横行溪谷終着駅
			⑦〔当駅〕 30分 1.1 km	

氷ノ山 大段ヶ平から眺める北側 中国山地 但馬の山並 2025.5.29.

良く知らぬ但馬の山並の特定正確にはできていません…

左端に鉢伏山・瀬川山が見え、中央奥に蘇武岳と手前右妙見岳 円山川域 日高の街の奥に床尾山系 そして須留ヶ峰が見えています

▼ 鉢伏山

蘇武岳

妙見山

床尾山系

▼ 須留ヶ峰

瀬川・氷ノ山周辺 自然観察ガイドブックより

大段ヶ平・氷ノ山中央駅 2025.5.29.



目的の避難小屋は
このあたりか？

氷ノ山山頂
1510m

仲間がよく止まった
という神大ヒュッテ
標高1250m超

氷ノ山山頂部が見え、その手前になだらかな丘
大段ヶ平・氷ノ山中央駅の駐車場に到着 11:30 到着
ここで昼食を済ませ、正面の氷ノ山中腹の標高1200m超の
大屋町避難小屋まで往復約1時間のミニハイク。
新緑に包まれた大段ヶ平の森 楽しみ。 2025.5.29. 11:33





大段ヶ平ブナ林の森のミニ登山の昼食 2025.5.29.



標高1200m大屋町避難小屋を目指して
素晴らしいブナ林の森のミニ登山 2025.5.29.





大段ヶ平 氷ノ山遠望



大段ヶ平 ブナの森を
大屋避難小屋へ ミニハイ



「巨木の谷」駅



氷ノ山山頂

福定新氷公園

神大ヒュッテ



大屋町避難小屋

ミニ登山

横行溪谷終着駅

氷ノ山中央(大段ヶ平)駅(大段ヶ平登山口)



標高1200m大屋町避難小屋を目指して
素晴らしいブナ林の森 ミニ登山

緩やかに伸びる狭い尾根筋の両側に素晴らしい
ブナ林が広がる大段ヶ平の先端部登山道



標高1200m超 大屋町避難小屋を目指して
素晴らしいブナ林の森のミニ登山
大段ヶ平登山口(標高約1100m) 12:10

A photograph of a forest path with hikers. The path is narrow and covered with brown leaves. On the left side of the path, there are several large, mature trees with thick, light-colored bark and dense green foliage. On the right side, there is a dense thicket of bamboo. In the distance, a group of hikers is visible on the path. They are wearing various hiking gear, including backpacks and hats. The overall scene is a lush, green forest with a clear path leading through it.

瀬川・氷ノ山林道 自然観察会で 2025.5.29. 氷ノ山 大段ヶ平の森で

眼前 氷ノ山山頂へのなだらかな尾根筋に広がるブナ林



大段ヶ平から大屋町避難小屋を目指して 新緑のブナ林の森のミニ登山
なだらかな傾斜が続く森の中 標高差 約100mを登るブナ林観察
2025.5.29..

A photograph of a lush green forest, likely a beech forest, with many tall, slender trees and a dense canopy. A dirt path is visible in the foreground, leading into the woods. The ground is covered with fallen leaves and twigs.

大段ヶ平から大屋町避難小屋を目指して 新緑のブナ林の森のミニ登山
なだらかな傾斜が続くブナの森の中 標高差 約100mを登るブナ林観察
2025.5.29..



大段ヶ平から大屋町避難小屋を目指して 新緑のブナ林の森のミニ登山
視界は開けないが、明るいブナ林の森 ところどころに大きなブナ



2025.5.29..



大段ヶ平から大屋町避難小屋を目指して 新緑のブナ林の森のミ二登山
大段ヶ平から一段上へあがると、背後が明るくなって
樹木の間を通して、背後の景色が見える 2025.5.29..



◎ 横行溪谷を抜けた県道28号沿い
里山の杉林

◎ 大段ヶ平のブナ林

標高ではっきり分かれている



藤無山 ↓

ブナ林の大段ヶ平

大段ヶ平から大屋町避難小屋を目指して 新緑のブナ林の森のミニ登山

大段ヶ平から一段上へあがり、南東側の展望が開け、右手に横行溪谷を挟んで登ってきた大段ヶ平
その先 遠くに若杉峠越 東に立ち並ぶ宍粟市側の山並みが見えている 2025.5.29..

A photograph of a forest trail. In the foreground, a large, dark tree trunk stands prominently. To the right, a dirt path leads into the distance where three hikers are visible. The hiker in the foreground is wearing a yellow jacket and a backpack. The background shows a dense forest of green trees and a hazy mountain range in the distance. The sky is overcast.

大段ヶ平から大屋町避難小屋を目指して 新緑のブナ林の森のミニ登山
もう ひと登りで 目的地の大屋町避難小屋 2025.5.29. 12:33



目的地の大屋町避難小屋到着 2025.5.29. 12:43
約30分ほど 緑に包まれたブナ林の探策walk 心配した雨も降らずラッキー



次々と仲間も到着
目的地の大屋町避難小屋から下山 2025.5.29. 12:48



巨樹のブナ 角度が変わると違って見える
道脇の笹竹はスズ竹というらしい。このスズ竹の子をスズコといい、
スズコ採りに登る人も多いという。

大段ヶ平 ブナ林の森 大屋町避難小屋周辺で 2025.5.29.



巨樹のブナ 角度が変わると違って見える
大段ヶ平 ブナ林の森 大屋町避難小屋周辺で 2025.5.29.

新緑のブナの森

樹木の根元の小さな花にデジカメ向けて帰える

20名程の小さな観察会のグループですが

森の散策路脇の藪の中に入り込んで、スズコを一杯採取する人

道々 樹木の根元にへばりついて 植物の観察をする人

登山道の周囲のブナの森をゆったり楽しみながら歩く人

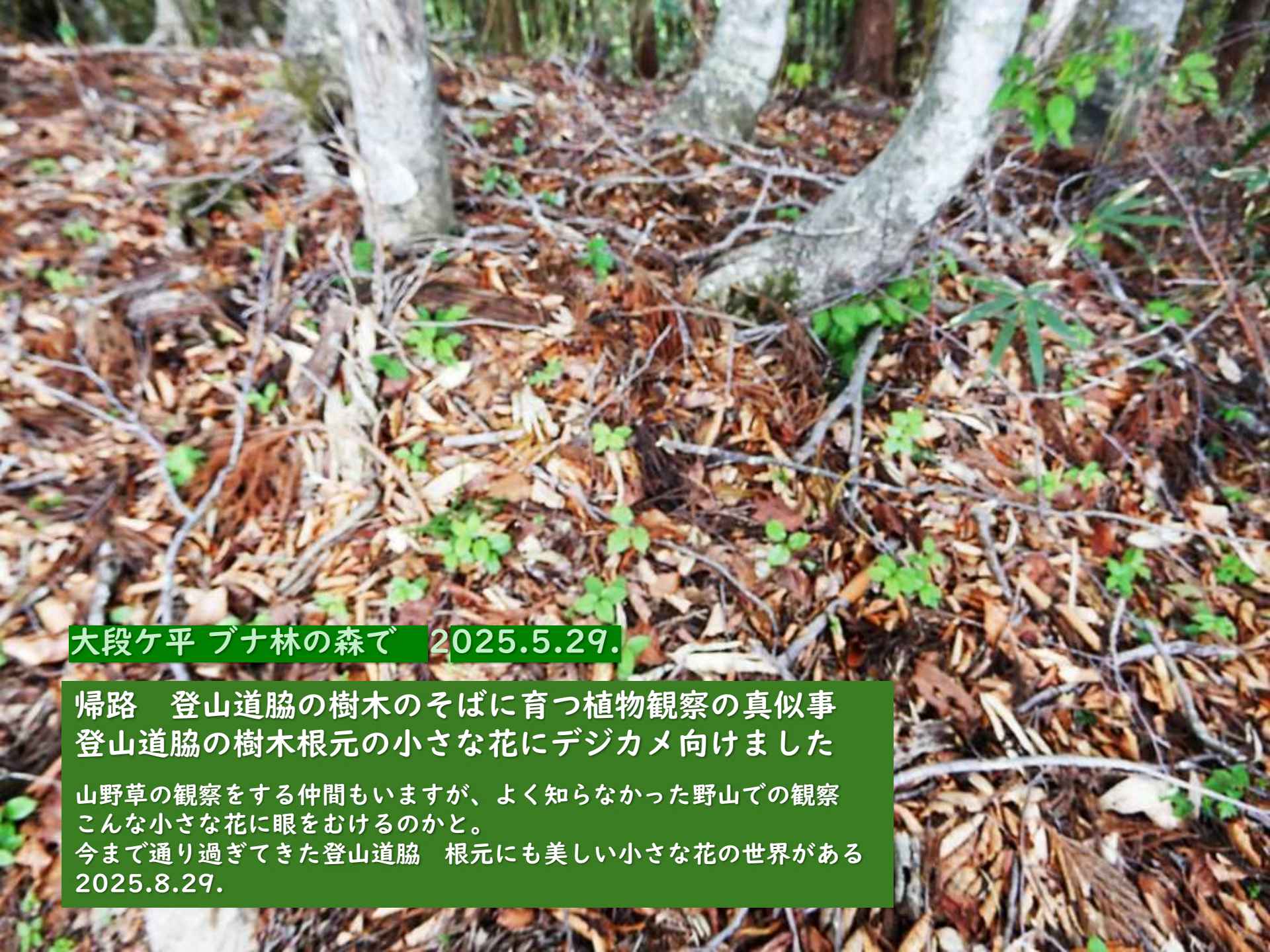
巨樹に抱き着き、耳を当てる人

案内の先生の話聞きながらこのブナの森を楽しむ人

私はきょろきょろ周囲の樹林・地形など景色を楽しむ好奇心人

みんなそれぞれの楽しみ方 人それぞれやと

本当に今回は多彩な人と仲間になれた

A photograph of a forest floor covered in brown, fallen leaves and dry twigs. Several tree trunks are visible, some with light-colored bark. Small green plants are growing in patches among the leaf litter.

大段ヶ平 ブナ林の森で 2025.5.29.

帰路 登山道脇の樹木のそばに育つ植物観察の真似事
登山道脇の樹木根元の小さな花にデジカメ向けました

山野草の観察をする仲間もいますが、よく知らなかった野山での観察
こんな小さな花に眼をむけるのかと。
今まで通り過ぎてきた登山道脇 根元にも美しい小さな花の世界がある
2025.8.29.

ツボスミレ

湿った場所に生える多年草で、4月から7月頃に淡い紫色の小さな花を咲かせます。

花は直径1～1.5cm程度で、花弁は5枚あり、下唇の中央には濃い紫色の条紋がある。葉は腎形で、根元からロゼット状に広がります。 googleレンズより

大段ヶ平 ブナ林の森で 2025.5.29.





すずこ(根曲がり竹の子)
登山道脇の竹藪から道脇に顔を出した筍の子
このあたりでは”すずこ”といい、
スズコ採りも盛んと聴く

大段ヶ平 ブナ林の森で 2025.5.29.



大段ヶ平 ブナ林の森で 2025.5.29.



大段ヶ平 ブナ林の森で 2025.5.29.



大段ヶ平 ブナ林の森で 2025.5.29.



ギンリョウソウ

全体が半透明の白色
葉緑素を持たず、光合成を行わない
腐生植物で、菌類に寄生して養分を
得ています。

google レンズより

大段ヶ平 ブナ林の森で 2025.5.29.



ツルアリドオシ

緑色の葉と小さな白い花が特徴
地面を這うように成長します。

日本では本州から沖縄にかけて広く分布し、
山地や林の湿った場所に自生

この花の開花時期は5月～6月頃

google レンズより

大段ヶ平 ブナ林の森で 2025.5.29.



チゴユリ（稚児百合）

多年草 日本各地の山野の林内に自生し、4月から6月にかけて小さく可愛らしい白い花を下向きに咲かせる。

花は直径約1.5cmで、花被片は6枚。

名前は、小さく可愛らしい花の姿を子供見立てたことに由来

日陰を好み、湿り気のある腐葉土のある場所に生育
地下茎を伸ばして増え、群生することが多い

google レンズで



ユキザサ (雪笹)

日本各地の山地の林内に自生するユリ科の多年草。葉が笹の葉に似ており、白い花を咲かせる。

また、若葉は山菜として食べることができるという。Googleレンズより

大段ヶ平 ブナ林の森で 2025.5.29.

ムラサキサギゴケ（紫鷺苔）

ムラサキサギゴケは、ハエドクソウ科の多年草で、日本に自生。鷺に似た形の紫色の花を咲かせ、地面を覆うように広がって育つのが特徴。

開花時期は4月から6月頃で、日当たりの良い湿った場所を好みます
また、白い花もたすうあるとか・・・??
googleレンズより



大段ヶ平 ブナ林の森で 2025.5.29.





2021年4月氷ノ山山麓の鵜縄林道を下った時に素晴らしい杉林にびっくりしましたが、
今回 標高800mから1000mにかけての大段ヶ平から山頂への登山道の森
こんなに明るく素晴らしいブナ林の森が維持されているのに本当にびっくり。

1時間ちょっとの散策でしたが、本当に心地よい森の散策ができました。

次は秋の自然観察walkにもぜひ参加したいと。

また、20名程の小さな観察会のグループ。

森の散策路脇の熊笹の中に入り込んで、笹筍を一杯とって手で来る人。 道々樹木の根元にへばりついて観察する人 目的地まで、まっすぐ登る人 巨樹に抱き着き、耳を当てる人。 案内の先生の話聞きながら、このブナの森を楽しむ人。 私などは周りをきょろきょろ樹林を楽しみながら目的地を目指すハイキング。

みんな それぞれの楽しみ方

がある。人それぞれ。

今回は本当に多彩やなあ・・・と。

でも、制限時間に大丈夫なのかなあ・・・と心配しました。

新緑の森のうまい空気を胸一杯。
全く私が知らなかった楽しみ方があると知りました。

清々しい気分 ブナ林の森の中での森林浴。

みんな時間一杯楽しんで...

帰り着きました。

うれしい大段ヶ平のブナ林との出会いになりました



A photograph of a forest trail with several hikers. The trail is a narrow dirt path winding through a dense forest. The trees are tall and slender, with green foliage. The ground is covered with fallen leaves and some low-lying plants. A group of people, including a person in a yellow jacket and a person in a blue jacket, are walking away from the camera on the path. The scene is captured in a slightly blurred, naturalistic style.

瀬川・氷ノ山林道 自然観察会で 2025.5.29. 氷ノ山 大段ヶ平の森で



標高1200m大屋町避難小屋を目指して
素晴らしいブナ林の森のミニ登山 2025.5.29.



新緑輝く素晴らしいブナ林の自然観察walk
兵庫県にこんな素晴らしいブナの森があるとびっくり。
うまい空気を胸一杯のうれしいミニ登山でした

大段ヶ平からさらに氷ノ山山腹の沢を渡りながら西へ 横行溪谷林道への分岐を通過
山腹に沿って南へ高度を上げて 林道山頂駅・国境の駅を通過して次の自然観察地
「ブナの観察駅」へ帰りは横行溪谷林道を抜けて帰路に 2025.5.29. 13:30





標高1030m 横行溪谷終着駅



標高1260m林道最高地点駅



標高1200m
養父(但馬)と宍粟(播磨)の国境 国境駅

巨木のブナの観察地 標高1160m ブナ観察駅
 標高1030m付近の横行林道分岐横行溪谷終着駅を過ぎて、
 東の戸倉方面に向かって標高をあげて山腹を巡る。
 標高1260mの林道最高地点を過ぎて、徐々に下り、
 但馬・播磨の国境を越えてブナ観察駅（標高1160m）に
 到着。



横行溪谷終着駅 分岐点



標高1160mブナの観察駅

■巨木ブナの観察walk

標高1160m ブナ観察駅 2029.5.29.



但馬・播磨の国境を越えてブナ観察駅（1160m）に到着。13:45
ここでは林道脇に林立する巨木ブナが見られるといい、
ブナ観察駅のすぐ前にもブナの巨木が立っている

⑫ブナの観察駅について

国境（市境、17.2km地点）を越えたあたりから、道の両側にブナの巨木が多く出現します。そんな木々を見たり、幹に触ったり、実を拾ったりと四季を通じて変わる美しいブナを身近に観察するのに絶好のポイントです。

近くには、林道のすぐ脇に整列するように並んで真っ直ぐ立っている4本のブナの大木があり、これらは通称「額縁ブナ」と呼ばれています。

この近辺で兵庫県森林林業技術センターが、ブナの結実調査（シードトラップ）を実施しています。



新緑のブナのトンネル



結実調査



ブナの観察風景



紅葉のブナ



通称「額縁ブナ」

（登山参考タイム） 殿下コース入口から～稜線まで 50分
稜線より～三の丸～氷ノ山山頂まで 約1時間30分

この場所は

福定起点より
17.5 km

標高
1,160 m

（前駅）
⑪国境の駅

徒歩での所要時間

10分
0.3 km

⑫[当駅]



氷ノ山ルート路線図

ひょうごの屋根・緑の回廊（瀬川・氷ノ山林道、氷ノ山ルート）

⑫ ブナの観察駅について

国境(市境。17.2km地点)を越えたあたりから、道の両側にブナの巨木が多く出現します。

そんな木々を見たり、幹に触ったり、実を拾ったりと四季を通じて変わる美しいブナを身近に観察するのに絶好のポイントです。

近くには林道のすぐ脇に整列するように並んで真っ直ぐ立っている4本のブナの大木があり、これらは通称「額縁ブナ」と呼ばれています。

この近辺で兵庫県森林林業技術センターが、ブナの結実調査(シードトラップ)を実施しています。





ブナ観察駅案内板のすぐ後ろに立つブナの巨木
見あげる空一杯に新緑の枝を広げた姿 何とも言えず素晴らしい
ふりそそぐエネルギーを胸一杯!!

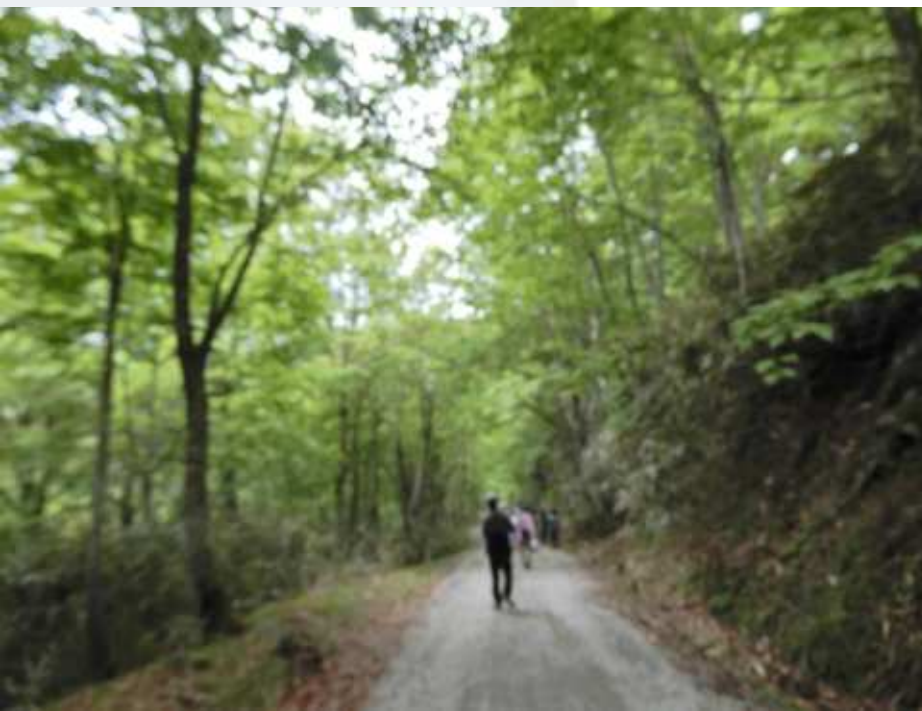


氷ノ山山腹を巡る瀬川・氷ノ山林道

ブナの観察駅で 2025.5.29.



林道 瀬川・氷ノ山線『額縁ブナ』 4本の巨木ブナが立ち並ぶ地点へ





通称「額縁ブナ」4本のブナの巨木が真っ直ぐ並び立つ
案内板の意味わからず、正面からの写真なし。
今 写真を撮っている場所での撮影が4本のブナが額縁に収まるようだ。



4本の巨木ブナが立ち並ぶ「額縁ブナ」からバスに戻る。
大きなブナの姿が本当に印象的なブナの観察駅周辺walk 益々好きになったブナ林
ここから横行溪谷市終着駅へ戻り、横行溪谷を下って帰路へ 2025.5.29. 14:00



こんな素晴らしいブナ林が兵庫にあった
もう感激一杯。秋にはナナカマドが紅葉して、
見事と聴きました。秋もまたぜひ参加したいと。



林道 瀬川・氷ノ山線『額縁ブナ』

ブナ観察駅から横行溪谷の入口へ戻る車窓から
眺める巨木のブナの森を眺めつつ
この風景も”額縁に収まるブナ” 2025.5.29. 14:10



横行溪谷溪谷終着駅へ下ってゆく中間点で滑落事故が発生したらしい 林道の通行が遮断され、マイクロバス 突然の約2時間の立ち往生

林道山頂駅を過ぎて 横行溪谷溪谷終着駅へ下ってゆく中間点でマイクロバスがストップ。私たちの先導車の向こうで、緊急車両に消防車。赤いランプがくるくる。

谷の中での滑落事故が発生し、救助作業が行われているらしい。

山の遭難 今 色々話題になっていますが、救助作業の大変さをあからさまに眺める事になりました。

氷ノ山の山腹の沢を渡ってゆく右も左にも待避できぬ場所で行き違いができず、戻ることも厳しい。

携帯電話は電波が届かない。緑で埋め尽くされた急峻な谷底。

上空でヘリがホバーリング・旋回を繰り返し、谷へ降りた救助隊の救助具ではダメでヘリが一度基地へ戻る。ヘリが戻ってきて、救助活動再開。ストップして約1時間を過ぎて、救助者を豊岡病院へ収容。どうやら無事とのコメントに安どする。

再度やってきた ヘリコプターが持込み道具を収容して去って、今度は林道から降りた救急隊が谷を登り終わり救助活動完了。

無事車が動かせる。 狭い1車線道路にマイクロバス。で向き合った車両どうするのか・・・

山の遭難者の救助作業を余すことなる見ることに。

山での遭難の救助活動のむつかしさ そして狭い林道の観光ルート化する課題も・・・





緑に覆われた急峻な横行溪谷の支谷の谷底
大きな滝があるあたりか・・・
谷への救助隊が動くのが少し見えるが、ヘリコプターが、
空間を見つけて、降りてゆくのはむづかしいだろう
なあ・・・ヘリコプターが何度もフォバーリングを繰り返すがうまくゆかない。





適切な救助道具をヘリが採りに戻り、空から救助を再度試みると決まったようだ。

ヘリが空から消えてゆく。

15分程度か・・・また、ヘリがやってきて、救助活動が再開され、滑落した人を救助できたのか、まもなくヘリが帰っていきました。今度はスムーズだったので、無事にヘリへ収容できたようだ。」

「滑落者は無事豊岡病院に収容された」との連絡が林道にいる救助隊の車に入る。

「ヘリは再度飛来し、谷に残された救助道具を持ち帰り、同時に谷にいる隊員たちも撤収を始めるので、林道が通れるまで30分余りかかるだろう」と知らせが入りました。

谷へ降りた救助隊が谷へ降ろした救助道具を持って上がってきて、救助作業完了。 16:18.



電波も届かぬ急峻な崖を降りての救助作業。すごいことだと思つづく思う本当にご苦労様
「滑落」との言葉が気になって、帰って調べると何段にも滝がかかっている道のない谷？
へりなしでの救助できない作業。 本当にご苦労様。 山の遭難救助の厳しさつづく。



救助作業を終え、救助具を引き上げつつ、谷から林道へ戻ってきた救助隊 厳しい作業だろう。
電波の届かぬ道のない急峻な深い谷へ降りての作業 すごいことだと思つづく。滝がかかっている周辺のような



走行ができるようになったのは、午後4時過ぎ 16:20
救助隊を先頭に走行が始まった。でも、救助隊の車は回転ができる場所までバック走行。約二時間遅れで、我々のバスも後に続く。「大屋川が流れ下る横行溪谷の自然観察は車窓からのみで そのまま神戸へ帰る」と変更。下山が始まり、横行溪谷終着駅から横行林道に入り、横行溪谷を下り、林道で口から大屋川に沿って県道28号波賀/大屋線 大屋町の街へ出て、大屋川沿いの鮎公園の駐車場に入って、今回のプログラムが終わる。

残念ながら 新緑の横行溪谷観察は車窓から。 秋の観察会までお預けと。



回転ができる場所までバック走行する救助隊の車の後に私たちの先導案内車
そしてバスが続く隊列が曲がり下った狭い林道をゆっくり下る。
2025.5.29. 横行溪谷終着駅手前の林道で



Google Earth photo



Google Earth photo



Google Earth photo



ひょうごの屋根・緑の回廊（瀬川・氷ノ山林道、氷ノ山ルート）

⑧横行溪谷終着駅について

養父市大屋町横行集落を起点とし、美しい横行溪谷に沿って走る「横行林道」の終点（本林道との接続点）です。ここには、旧大屋町によって設置された休憩小屋があります。

大段ヶ平からいったん横行川に向かって標高を下げてきた本林道は、この分岐を過ぎ三ツ滝橋を渡ってから、再び標高を上げてゆきます。

すぐ近くには、「三ツ滝」の散策道入口があり、入口から川沿いに約300m上流に歩けば滝を見ることが出来ます。



三ツ滝散策道入口



三ツ滝1



横行林道



三ツ滝までの山道



三ツ滝2



横行溪谷



この場所は

指定起点より	標高	(前駅)	徒歩での所要時間	(次駅)
13.6 km	1,020 m	⑦氷ノ山中央 (大段ヶ平) 駅	30分 1.1 km	⑨氷ノ山に ブナを植えよう駅
			70分 2.4 km	

横行溪谷終着駅まで戻り、横行溪谷を下って大屋町へ 救助隊のバック走行の前も通常走行になり、ほんと一息ここからは支線の横行林道。溪谷沿いを一機に下る。滝がいくつも見られると期待していましたが、次回に。



横行（よこいき）溪谷 〔養父市大屋町〕

養父市大屋町側からの氷ノ山登山ルートである大段ヶ平 への道中にある溪谷。大屋川の源流は、横行溪谷に沿って氷ノ山まで続いています。

四季折々の自然豊かな景 観が楽しめるコースで、特に新緑と紅葉は見事です。また、平家滅亡のロマンを秘めた溪谷でもあり、溪谷沿いには「平家ヶ城跡」「姫が淵（ひめがぶち）」といった平家伝説にまつわる岩盤や湧があります。



支流滝



一の渡しの滝



ノースツアー レクリエーション センター



乙女滝



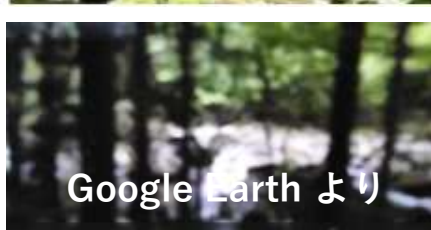
鵜川・横行林道は一車線ながら舗装整備された一車線林道で標高800mを越える本線では美しいブナの森が広がっているのに対し、林立する杉の美林に覆われた森が溪谷に沿って続く。

今回おもわぬトラブルで、車窓からの自然観察のみとなり、杉の美林と大屋川の溪谷が織りなす景色を存分観察できず。インターネットで得た資料なども加え横行溪谷の記録をまとめました。



PhotoはGoogle Earth より

標高1000m近傍の横行溪谷終着駅から横行ヶ林道に入ると周囲は杉の森の頂上部。林道両側は林立する杉林。車窓から目まぐるしく飛んで行く美林を眺めながら、ジグザク道を一機に下って、谷の底部。すぐ横に大屋川源流部が流れ下る谷底に。周囲には美しい美林が広がり、美林の中を溪谷に沿って下ってゆく。杉木立が次から次へ消えてゆくのですが、川の流れや、角度を変えた観察などはできず。約30分ほどで溪谷を抜け、横行林道の出口 横行集落に出ました。でも 車も人っ子一人通らぬ林道を一機に駆け抜けた爽快感。この秋はこの溪谷も真っ赤と聞いたので、この秋の自然観察会に期待一杯です



新緑の横行溪谷を
マイクロバスで駆け抜ける
2025.5.29.

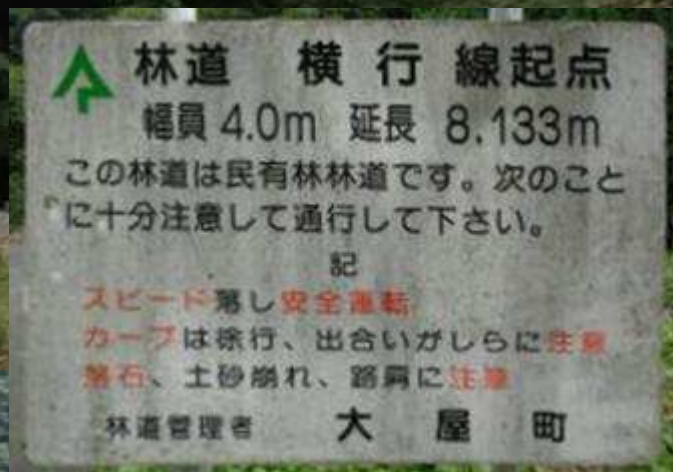
Google Earth より

湧水「ぶなのしずく」から少し下ったところが横行溪谷の出口で 横行集落のはずれ・横行林道の起点



横行林道 横行溪谷の谷へ降りて間もなく、こんな不思議な光景を見ました 2025.5.29.

初めての光景:伐採した山での植林の風景 植林した苗木・若木一つ一つに被せた食害防止袋
 分解性ポリマーでできた袋と支えポールで苗木・若木を保護 かけた袋もポールも自然に帰るという
 今、鳥獣対策が植林にも大きな課題。 人節が山でも大きく進行していること知りました。



Google Earth より 横行溪谷の出口で 大屋町側からの横行林道の起点標識

湧水「ぶなのしずく」から杉林の中を少し下ったところにバスの方向転換広場があり、その横に「林道横行線起点」の標識がありました。この広場に沿う坂道を下ると流れ下る大屋川の両岸に沿う養父市横行集落。本当に山深い瀬川氷ノ山林道 いろんな新しい経験ができた新緑の氷ノ山自然観察会の一日になりました 秋にはもう一度 この谷へと。 横行林道を通り抜けて 2025.5.29. 17:06



横行溪谷は抜けましたが、まだ、大屋川に沿う谷筋が東へつづく。
中間地区・栗ノ下で 南西の宍粟市波賀と北東の養父市大屋町を結ぶ県道29号線
へ合流。さらに東へ大屋川に沿って東に行くと養父市大屋の街に出る。
大屋町の鮎公園でトイレ休憩をとり、神戸への帰路につく。

横行溪谷を抜けて、大屋川の両側に広がる横行集落を抜けて最終終結地大屋町の鮎公園へ
もう夕暮れまじかですが、まだまだ山間 大屋川に沿って下る。



Google Earth Photo より



山間の道から2車線の広い県道28号に出る中間地区栗ノ下の十字路
 右:若杉峠越で波賀町戸倉・宍粟市へ 左:養父市大屋町 但馬と宍粟を結ぶ 県道28号線
 原チャリや車で何度か通過の県道28号線 でも もう記憶はあやふやです



Google Earth photo



2車線の道幅広い県道28号に出て、杉林の山間 中間、筏の集落と点々と集落を抜けてゆく
「天滝」の標識を見つけ、この道が天滝へ入る道と気が付く 筏集落付近で



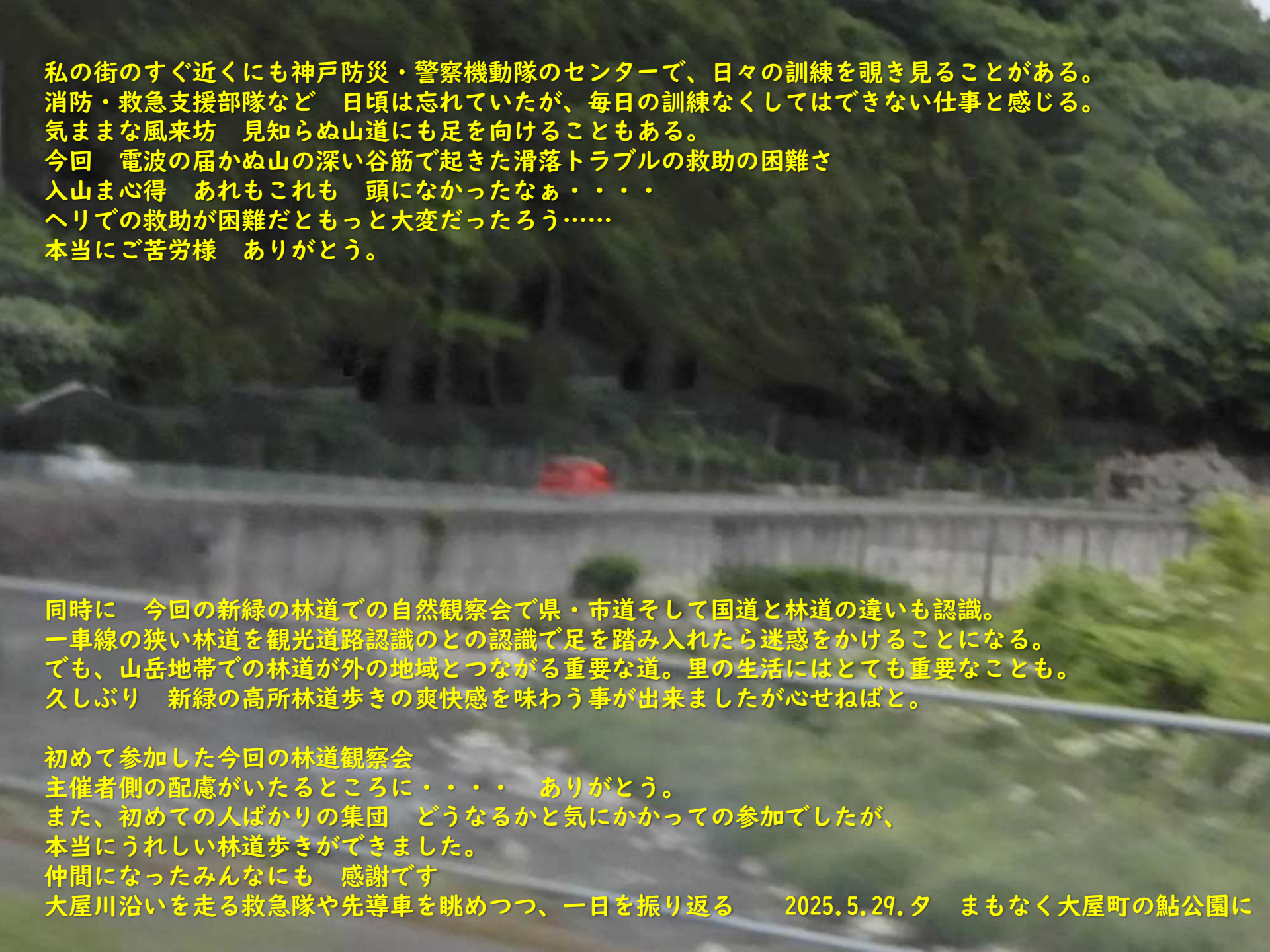
ほどなく大屋町の街の中心部近く大屋町蔵垣の里に入る 2025.5.29.

フロントの窓からは 街中を行く赤い消防車を先頭に救急作業作業者・先導車両それに
我々の乗るマイクロバスが見えている。

街の人たちにはこの光景 なんと見えているだろうか……

私の街のすぐ近くにも神戸防災・警察機動隊のセンターで、日々の訓練を覗き見ることが
ある。消防・救急支援部隊など 日頃は忘れていたが、
毎日の訓練なくしてはできない仕事と感じる。本当にご苦勞様 ありがとう。
道路わきには蚕のシンボル標識 養父・大屋はかいこの町だったと。
久しぶりの但馬路 色々思いだしなからの一日ももう終わり。





私の街のすぐ近くにも神戸防災・警察機動隊のセンターで、日々の訓練を覗き見ることがある。
消防・救急支援部隊など 日頃は忘れていたが、毎日の訓練なくしてはできない仕事とを感じる。
気ままな風来坊 見知らぬ山道にも足を向けることもある。
今回 電波の届かぬ山の深い谷筋で起きた滑落トラブルの救助の困難さ
入山ま心得 あれもこれも 頭になかったなあ・・・
ヘリでの救助が困難だともっと大変だったろう……
本当にご苦勞様 ありがとう。

同時に 今回の新緑の林道での自然観察会で県・市道そして国道と林道の違いも認識。
一車線の狭い林道を観光道路認識のとの認識で足を踏み入れたら迷惑をかけることになる。
でも、山岳地帯での林道が外の地域とつながる重要な道。里の生活にはとても重要なことも。
久しぶり 新緑の高所林道歩きの爽快感を味わう事が出来ましたが心せねばと。

初めて参加した今回の林道観察会

主催者側の配慮がいたるところに・・・ ありがとう。

また、初めての人ばかりの集団 どうなるかと気にかかったの参加でしたが、
本当にうれしい林道歩きができました。

仲間になったみんなにも 感謝です

大屋川沿いを走る救急隊や先導車を眺めつつ、一日を振り返る 2025.5.29.タ まもなく大屋町の鮎公園に



今日も一日 Good Day!!
みんなみんな ありがとう
Mutsu Nakanishi
2025.5.29. 夕

大屋川の土手にある大屋町鮎公園駐車場で みんな帰路準備
養父のサポート部隊ともここでお別れ 神戸へ 2025.5.29. 5:25

A photograph of a forest path with hikers. The path is narrow and covered with brown leaves. On the left side of the path, there are several large, mature trees with thick, light-colored bark and dense green foliage. On the right side, there is a dense thicket of bamboo. In the distance, a group of hikers is visible on the path. They are wearing various hiking gear, including backpacks and hats. The overall atmosphere is peaceful and natural.

瀬川・氷ノ山林道 自然観察会で 2025.5.29. 氷ノ山 大段ヶ平の森で

眼前 氷ノ山山頂へのなだらかな尾根筋に広がるブナ林



大段ヶ平から大屋町避難小屋を目指して 新緑のブナ林の森のミニ登山
視界は開けないが、明るいブナ林の森 ところどころに大きなブナ



2025.5.29..

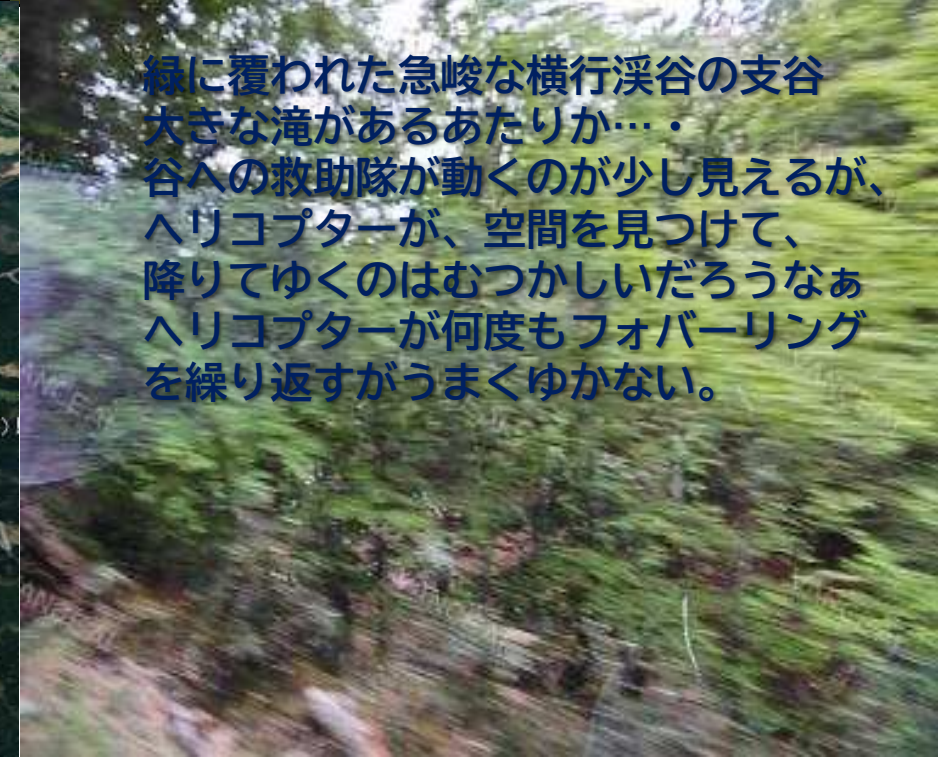


ブナ観察駅案内板のすぐ後ろに立つブナの巨木
見あげる空一杯に新緑の枝を広げた姿 何とも言えず素晴らしい
ふりそそぐエネルギーを胸一杯!!



氷ノ山山腹を巡る瀬川・氷ノ山林道

ブナの観察駅で 2025.5.29.



緑に覆われた急峻な横行溪谷の支谷
大きな滝があるあたりか・・・
谷への救助隊が動くのが少し見えるが、
ヘリコプターが、空間を見つけて、
降りてゆくのはむづかしいだろうなあ
ヘリコプターが何度もフォバーリング
を繰り返すがうまくゆかない。

兵庫県治山林道協会 瀬川・氷ノ山林道 新緑の林道自然観察ウォーク 2025.5.29.



A photograph of a forest path. The path is made of brown leaves and dirt, winding through a dense forest. Large, mature trees with thick trunks and lush green foliage line the path. In the distance, two people are visible walking along the path. The overall atmosphere is peaceful and scenic.

氷ノ山山頂へと続く緩い尾根筋に広がる素晴らしいブナ林
兵庫にこんな美しいブナの森がある 2025.5.29.

兵庫県治山林道協会 瀬川・氷ノ山線
新緑の林道自然観察ウォーキング

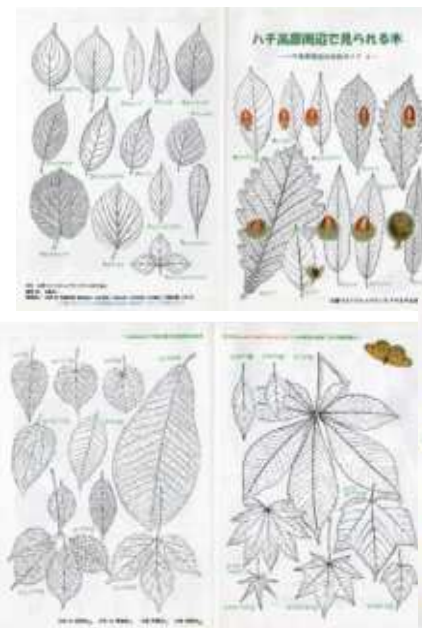
令和7年5月29日(木) 豊文館・兵庫県





【特徴】
8.00 種 兵庫県産
① 10.00 種 丁子の葉ふしや針葉樹にて合流
② 10.00 種 「新緑林道自然観察」の停止
③ 10.00 種 「新緑林道自然観察」の停止
④ 10.00 種 「新緑林道自然観察」の停止
⑤ 10.00 種 大団やややや
⑥ 10.00 種 (新緑林道自然観察) 中継まで20分
⑦ 10.00 種 「新緑林道自然観察」の停止
⑧ 10.00 種 「新緑林道自然観察」の停止
⑨ 10.00 種 新緑林道自然観察
⑩ 10.00 種 新緑林道自然観察
⑪ 10.00 種 新緑林道自然観察
⑫ 10.00 種 新緑林道自然観察
⑬ 10.00 種 新緑林道自然観察
⑭ 10.00 種 新緑林道自然観察
⑮ 10.00 種 新緑林道自然観察
⑯ 10.00 種 新緑林道自然観察
⑰ 10.00 種 新緑林道自然観察
⑱ 10.00 種 新緑林道自然観察
⑲ 10.00 種 新緑林道自然観察
⑳ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉑ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉒ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉓ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉔ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉕ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉖ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉗ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉘ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉙ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉚ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉛ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉜ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉝ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉞ 10.00 種 新緑林道自然観察
㉟ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊱ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊲ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊳ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊴ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊵ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊶ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊷ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊸ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊹ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊺ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊻ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊼ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊽ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊾ 10.00 種 新緑林道自然観察
㊿ 10.00 種 新緑林道自然観察

一般社団法人 兵庫県治山林道協会
〒650-0012 神戸市中央区南長崎通五丁目5番10号
Tel 078(37)33210 Fax 078(37)34442
http://www.chiyamatsudou.jp





新緑の林道自然観察ウォーキング

令和7年5月29日（木） 養父市・宍粟市



【行程表】

- 8:00 頃 林業会館発
- ① 10:00 頃 『道の駅ようか但馬蔵』にて合流
 - ② 『福定親水公園』小休止
 - ③ 『湿地環境を守ろう駅』
 - ④ 『巨木の谷駅』
 - ⑤ 11:30 頃 大段ヶ平で昼食
(希望者は大屋町避難小屋までミニ登山)
 - ⑥ 13:10 頃 『ブナの観察駅』周辺をウォーキング
 - ⑦ 『横行溪谷駅』周辺をウォーキング
 - ⑧ 但馬の名水『ぶなのしずく』
 - ⑨ あゆ公園
 - ⑩ 16:00 頃 道の駅『まほろば』休憩
 - 18:30 頃 三宮→林業会館到着



一般社団法人 兵庫県治山林道協会

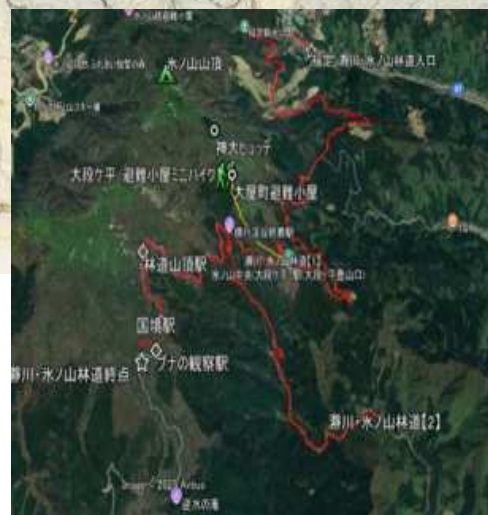
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18

Tel 078(371)0210 Fax 078(371)6632

<http://www.chisanrindou.jp/>



新緑の林道自然観察ウォーキング行程マップ





周辺には何度も出かけたことがあるのですが、まだ山頂を踏んでいない兵庫県最高峰「氷ノ山(1509.8m)」家内がスマホで見つけた「兵庫県林業協会主催 氷ノ山山腹を巡る氷ノ山林道自然観察会(募集定員14名)」神戸からバスで現地に入れるとダメもとでもよいからと申込み。幸運にも参加Okの通知。

3年前 氷ノ山登山の下見に通った瀬川・氷ノ山林道の自然観察会。個人で行くのとは違う自然観察会どんなwalkになるのか興味深々。2029.5.29. 天候は曇り 夕方から雨の早朝。マイクロバスで神戸三宮・県庁前を出発。 8:00

三ノ宮-新神戸トンネル-箕谷-阪神高速北神戸線
一舞鶴若狭自動車道-春日-北近畿自動車道-養父-
国道9号-関宮-県道87号-福定-瀬川・氷ノ山林道
入口へ もっと簡単な行き方あるのにと...
神戸の高速道路網はややこしい

兵庫県林業協会主催
氷ノ山山腹を巡る氷ノ山林道自然観察会 2025.5.29.
新緑の林道自然観察ウォーキング行程マップ



A photograph of a forest path. The path is made of brown leaves and dirt, winding through a dense forest. Large, mature trees with thick trunks and lush green foliage line the path. In the distance, two people are visible walking along the path. The overall atmosphere is peaceful and scenic.

氷ノ山山頂へと続く緩い尾根筋に広がる素晴らしいブナ林
兵庫にこんな美しいブナの森がある 2025.5.29.



ブナ観察駅案内板のすぐ後ろに立つブナの巨木
見あげる空一杯に新緑の枝を広げた姿 何とも言えず素晴らしい
ふりそそぐエネルギーを胸一杯!!

【記録】

新緑の瀬川・氷ノ山林道

新緑の林道自然観察Walk
2025.5.29.by Mutsu Nakanishi

兵庫にもこんな素晴らしいブナ林がある
また、私には違ったスタイルでの山歩き
いろいろ経験できたうれしい記録になりました
今度は真っ赤な紅葉の秋
次の観察会楽しみにしています

ありがとうございます

2025.6.10. Mutsu Nakanishi

新緑の林道自然観察ウォーキング行程マップ



デジカメの調子悪く、ピンボケばかりでお許しください。素晴らしい新緑のブナ林のうれしい記録。
また、一部 インターネットから採取したPhotoや、2021年氷ノ山山麓林道ドライブのスライド等々を個々の場面の整理スライド他として使わせていただきました。感謝です

Web 瀬川氷ノ山林道走行記録の検索・googleレンズ検索 Google Earth & カシミール3D地図他
2025.6.5. Mutsu Nakanishi